Asia-Pacific Area Studies Project

Annual Report 2016

京都大学東南アジア地域研究研究所

環太平洋研究ハブ拠点形成　2016年度報告書

CIRAS

目次

4 緒厳

5 プロジェクト 研究者

6 開催学術集会

16 研究成果報告

22 受賞

23 報道

Asia-Pacific Area Studies Project

Annual Report 2016

京都大学東南アジア地域研究研究所

環太平洋研究ハブ拠点形成　2016 年度報告書

緒 厳

ベルリンの壁の崩壊から30年になろうとしている今日、世界全体としても、またその様々な地域においても、20世紀後半に形成された秩序や状態は激しく動揺しています。世界の秩序は混迷し、無秩序化の様相を強めているということができます。

中国が台頭しアメリカ合衆国の覇権が低下する中で、第二次世界大戦後の冷戦期においては皮肉にも見られたような、大国間の紛争回避メカニズムすらありません。一方で、戦後世界で理想的社会像とされた福祉国家型の経済モデルもここに至って限界に達し、新たな方向性を見出せていません。それに代わって世界各地に浸透した新自由主義は、格差拡大や貧困層の増加などの社会的矛盾を深刻化させ、民主政治の枠組みを動揺させています。そうした無秩序化は、政治、経済、社会のみならず、文化や環境、エネルギー、疾病といった自然系を含む様々な位相(aspects)を貫いて表出しています。

我が国の将来を大きく左右するアジア太平洋は、そうしたグローバルな秩序変動が如実に表出している地域です。そのため、アジア太平洋における今世紀の秩序の具体的なあり方と構築の方向性を総合的、学際的に考察することが喫緊の課題となっています。

こうした状況において問われているのは、(a)対立と分裂を基調とする無秩序化が今後も続くのか、あるいはこれを克服し、調和と協働の下で21 世紀の秩序が新たに構築されるのか、そして、(b)新たな秩序が構築されるとすれば、具体的にどのようなものとなるのか、ということです。

現時点では、今後の秩序の具体的な方向性やあり方について、何らかの確信に基づいて多くを語ることは困難です。拙速に陥ることなく、しかし悠長な時間の余裕はないことも念頭に置きつつ、我々は学問的探究を進める中で、21世紀の新秩序を構想していかなければなりません。構想にむけては、世界レベルで覇権をめぐって争う能力を持つ大国の関係ならびにそれ以外の国々の発展と国際舞台での行動のあり方という二つの次元が複雑に絡み合って織り成される実践現場での多様な日常的営為を、注意深く、いわば鳥の目・人の目・虫の目をもって多角的に観察する必要があると考えています。そして、そこで紡ぎ出される制度―ある社会の成員によって、ある目的を達成するために正統と認められている了解・合意事項、行動定型、規範・ルール、慣習―を見出し、あるいは制度構築のための環境整備に貢献し、それらを丁寧に繋ぎ合わせて地域大、世界大の秩序形成へと発展、展開させなければならないと思います。

「環太平洋研究ハブ拠点形成」は、以上のような展望の下に展開する学問的営為であり、21世紀のアジア太平洋における新たな秩序を構想することに寄与することを念頭において推進するものです。

２０１８年２月
京都大学東南アジア地域研究研究所
環太平洋研究ハブ拠点形成
代表　村上勇介

Asia-Pacific Area Studies Project

研究者

1 **石川 登**
教授
専門分野
文化人類学、ボルネオ地域研究

2 **帶谷 知可**
准教授
専門分野
中央アジア地域研究
中央アジア近現代史

3 **中西 嘉宏**
准教授
専門分野
地域研究、比較政治学、ミャンマー政治研究

4 **中山 大将**
助教
専門分野
北東アジア地域研究、サハリン樺太史
農業社会史、移民史

5 **貴志 俊彦**
教授
専門分野
日中関係史、東アジア情報・通信
メディア史研究、移民研究

7 **原 正一郎**
教授
専門分野
情報学

6 **DE JONG, Wil**
教授
専門分野
Natural resource governance

8 **三重野 文晴**
教授
専門分野
経済学、開発金融論

9 **村上 勇介**
准教授
専門分野
ラテンアメリカ地域研究、政治学

開催学術集会

＊「開催代表者」は本プロジェクトのメンバーのみを記載しています。

ワークショップ（公開・共同利用共同研究拠点事業）

創立10周年記念ワークショップ　地域を測量（はか）る：混迷する現代社会に向けて

開催日　2016年4月23日
開催地　京都大学稲盛財団記念館3階大会議室
開催代表者　村上勇介
参加人数　88名

開会挨拶　原正一郎（京大地域研）
趣旨説明　林行夫（京大地域研）
「21世紀における国家の行方」村上勇介（京大地域研）
「無、一、二、複数：国籍を数える」小森宏美（早稲田大学）
「熱帯雨林への眼差し：グローバルな言説とローカルの利用」柳澤雅之（京大地域研）
「制度の隙間の宗教的なる営み」林行夫（京大地域研）
コメントおよび総合討論
コメンテーター　臼杵陽（日本女子大学）
閉会挨拶　貴志俊彦（京大地域研）

報告会（公開・共同利用共同研究拠点事業）

平成27年度共同利用・共同研究報告会

開催日　2016年4月24日
開催地　京都大学稲稲盛財団記念館3階大会議室
開催代表者　村上勇介
参加人数　88名

国際ワークショップ

Kyoto University CIAS-Lafayette College Workshop: Collaborative Digital Archive of Twentieth-Century Japanese Postcards

開催日　2016年5月11日
開催地　Lafayette College, Easton Pennsylvania
開催代表者　原正一郎、貴志俊彦
参加人数　15名

“Growing the East Asia Image Collection over a Decade” Eric Luhrs & Paul Barclay (Lafayette College)
“CIAS Digital Environment and Database of the Pre-1945 East Asian Postcards” Akihiko Kameda and Toshihiko Kishi (CIAS, Kyoto University)
“Roundtable: Resource Sharing & Scholarly Collaboration between CIAS and Lafayette” Shoichiro Hara, Toshihiko Kishi, Akihiro Kameda, Paul Barclay, Eric Luhrs, Michaela Kelly

研究会
ビルマ研究会

開催日　2016年5月14～15日
開催地　京都大学稲盛財団記念館3階大会議室
開催代表者　中西嘉宏
参加人数　109名

一日目
[第１セッション]
「シュリークシェートラ遺跡周辺の遺構現状調査概報：ユネスコ世界遺産登録後の課題」魚津知克（大手前大学史学研究所）・白石華子（京都大学大学院）
「パンロン会議における『民族団結』とは何か？：シャン・ソーブワーの立場から」菊池泰平（大阪大学大学院言語文化研究科）
「ナガという少数民族：伝承民話を中心に」土橋泰子（フリーランス）
[第２セッション]
「ビルマ統治法下（1937-48）のインド人移民制限をめぐる植民地政府の対応：ナショナリズムとのせめぎあいの中で」根本敬（上智大学総合グローバル学部）
「ミャンマーの輸出入企業は、なぜ銀行で両替しないのか：企業サーベイによる検証」久保公二（日本貿易振興機構アジア経済研究所）
「2015年ミャンマー総選挙とその後」伊野憲治（北九州市立大学）

二日目
[第３セッション]
「タマン人とその言語」藤原敬介（神戸市外国語大学）
「コーカンのドッカ」髙橋昭雄（東京大学東洋文化研究所）
[第４セッション]
“The Concept of Man in Myanmar Philosophical Thought” Dr. San Tun (Dagon University)
「ミャンマーの高等教育と日本留学の現状」原田正美（元留学コーディネーター）・松尾寛子（神戸大学大学院）

国際ワークショップ
Harvard-Yenching Library New Holdings in Manchukuo History: Needs and Opportunities

開催日　2016年5月19日
開催地　Harvard-Yenching Library
開催代表者　原正一郎、貴志俊彦
参加人数　45名

“Introductions, Background, Scope and Content of the Collection” Kuniko Yamada McVey (Harvard-Yenching Library)
“The Yenching Library Manchurian Materials in Global Perspective: Preliminary Results of Professor Kishi’s 3-day survey; impressions of the collection in the context of Japanese and Chinese holdings in this area” Toshihiko Kishi (CIAS, Kyoto University)
“Manchukuo Postcards and Digital Collaboration: Needs and Opportunities. Update on Kyodai-Lafayette 20th Century East Asian Postcard collaboration; models for inter- institutional resource-sharing possibilities for Yenching collection” Paul Barclay (Lafayette College) and Akihiro Kameda (CIAS, Kyoto University)
Open Discussion, all participants

講演会

Harvard Yenching Library Special Morning Session: Digital Collaboration

開催日　2016年5月19日
開催地　Harvard-Yenching Library
開催代表者　原正一郎、貴志俊彦

ワークショップ（公開）

非文字資料が描く中国・台湾像

開催日　2016年6月15日
開催地　京都大学稲盛財団記念館地域研セミナー室
開催代表者　貴志俊彦

「戦後中華民国の対日宣伝フィルム」川島真（東京大学）
「『中国の赤い星』以前の毛沢東イメージ」石川禎浩（京都大学）
主催：科研・基盤研究（A）「東アジア域内100年間の紛争・協調の軌跡を非文字史料から読み解く」（代表：貴志俊彦）

国際ワークショップ

Toward Building Regional Platform for Disaster Risk Reduction in Asia

開催日　2016年7月21 ～ 23日
開催地　京都大学稲盛財団記念館3階大会議室
開催代表者　原正一郎

22 July [Opening Session]
Welcome Speech by Prof. Dr. Shoichiro Hara (CIAS, Kyoto University)
Opening Remarks by Dr. Hiroyuki Yamamoto (CIAS, Kyoto University)
Keynote Speech “Internet-based Disaster Risk Information System for Aceh Province of Indonesia” Dr. Khairul Munadi (Syiah Kuala University)
Keynote Speech “Mapping of Research on Disasters in Malaysia” Dr. SH. Mohd Saifuddeen bin SH. Mohd Saleh and Dr. Mohd Farid bin Mohd Shahran (Institute of Islamic Understanding Malaysia)
Keynote Speech “Cultures of Disaster? Volcanological Advisories and the Philippine Public” Prof. Dr. Filomeno Jr. V. Aguilar (Ateneo de Manila University)
[Panel 1]
“Assessing the possible impact of volcanic hazards on cultural heritages from Sinabung eruption in District of Tanah Karo, North Sumatera” Dr. Nazli Ismail (Syia Kuala University)
“Haze Management in Malaysia: Issues, Measures and Challenges” Dr. Mohd Farid bin Mohd Shahran (Institute of Islamic Understanding Malaysia)
“The Anthoropological in Multidisciplinary Research Program for Ensuring Ecosystem Quality and Responding to Disasters” Prof. Dr. Enrique Oracion (Silliman University)
“The Kumamoto Earthquakes of April 2016: A Summary of Impacts” Prof. Dr. James D. Goltz (DPRI, Kyoto University)
Discussion

23 July [Panel 2]
“Recovery of Banda Aceh City Post-Tsunami Disaster 2004 and Current State of Development” Dr. Muzailin Affan (Syiah Kuala University)
“Practical Data for Barangay-Oriented Resources and Climate Change Vulnerability Assessment” Dr. Roy Olsen de Leon (Silliman University)
“Practical Data for Barangay-Oriented Resources and Climate Change Vulnerability Assessment” Dr. Roy Olsen de Leon
Discussion
Moderator s comment by Dr. Mohd Farid bin Mohd Shahran
[Panel 3]
“Seismological Research in Aceh; Current Results and Future Plan” Dr. Muksin Umar (Syia Kuala University)
“Man-made Disasters Contributed to the Natural Disaster in Malaysia” Rosmidzatul Azila Mat Yamin (Institute of Islamic Understanding Malaysia)
“The Manila Observatory, 19th to 20th Century: A Survey of Institutional Disaster Risk Reduction Response Service of a Scientific Institutions” Mr. Kerby Alvarez (University of the Philippines Diliman)
“Platform for Keeping the Memories of Disasters: Case Studies on Isewan Typhoon, 2011 Great East Japan Earthquake, and Memory Hunting” Prof. Dr. Kitamoto Asanobu (National Institute of Informatics)
Discussion
Moderator s comment by Dr. Khairul Munadi
Announcement and Closing Remarks

研究会（共同利用共同研究拠点事業）

低成長期の発展途上諸国における政治経済社会変動の地域間比較研究（中央アジア研究グループ第1回研究会）

開催日　2016年7月27～28日
開催地　京都大学稲盛財団記念館地域研セミナー室
開催代表者　帯谷知可
参加人数　8名

国際ワークショップ

東亜論壇2016　華東師範大学学術交流会

開催日　2016年9月3日
開催地　華東師範大学中山北路キャンパス
開催代表者　貴志俊彦
参加人数　18名

開会の挨拶　潘世聖（華東師範大学外国語学院日本語学部）・貴志俊彦（京大地域研）
[第一部] 総合司会：潘世聖
「日本の民家の100年」菊地暁（京都大学）
「ストリンドベリ『痴人の懺悔』と谷崎潤一郎『痴人の愛』の成立」金晶（華東師範大学）
「人びとの日露戦争イメージ 1904-1935」長谷川怜（千代田区立日比谷図書文化館）
「庶民が見た日清戦争：清末の得勝図を手がかりに」唐権（華東師範大学）
「保守主義概念の再考：近現代中国の場合」李梁（弘前大学）

[第二部] 総合司会：李梁
「日中間海底ケーブル建設事業をめぐる記録と記憶」貴志俊彦
「中国の災害記憶について：海原大震災（1920）から唐山大震災（1976）まで」王暁葵（華東師範大学）
「華北交通アーカイブ：データベース構築と地理学的分析」西村陽子（東洋大学）
「戦後沖縄ヒストリオグラフィー」泉水英計（神奈川大学）
「閉ざされた『語り』：2012年“反日デモ”に関する現代上海和僑の生活体験について」中村貴（華東師範大学）
「从纸堆里的历史到生活中的方言：“瘦马”新探」沈燕（華東師範大学）
総合討論
閉会の挨拶
主催：華東師範大学日本語学部
共催：科研・基盤（A）「東アジア域内100年間の紛争・協調の軌跡を非文字史料から読み解く」（代表：貴志俊彦）

研究会（公開・共同利用共同研究拠点事業）
「新興国の経済政策比較」第1回研究会

開催日　2016年10月1日
開催地　京都大学稲盛財団記念館中会議室
開催代表者　村上勇介
参加人数　15名

「ブラジルの条件付現金給付政策：ボルサ･ファミリアへの集約における言説とアイディア」近田亮平（日本貿易振興機構アジア経済研究所）
「韓国の年金改革：IMF危機以降の政策転換」井上睦（日本福祉大学）

講習会
Myデータベース講習会

開催日　2016年11月4日
開催地　京都大学稲盛財団記念館地域研セミナー室
開催代表者　原正一郎
参加人数　6名

セミナー（共同利用・共同研究拠点事業）
「カシコン銀行の経営戦略（アセアン内外の海外戦略）　カシコン銀行（タイ）東京事務所所長 スワンナチョート チャクリット氏」

開催日　2016年11月17日
開催地　京都大学東南アジア研究所
開催代表者　三重野文晴
参加人数　7名

国際セミナー（公開）

The 40th Southeast Asia Seminar

開催日　2016年11月19 ～ 22日
開催地　Myanmar, Yangon, Business Alliance Hotel
開催代表者　中西嘉宏
参加人数　43名

研究会（共同利用共同研究拠点事業）

低成長期の発展途上諸国における政治経済社会変動の地域間比較研究（中央アジア研究グループ第2回研究会）

開催日　2016年11月28日
開催地　京都大学稲盛財団記念館地域研セミナー室
開催代表者　帯谷知可
参加人数　4名

研究会（共同利用共同研究拠点事業）

低成長期の発展途上諸国における政治経済社会変動の地域間比較研究（中央アジア研究グループ第3回研究会）

開催日　2016年12月12日
開催地　京都大学稲盛財団記念館地域研セミナー室
開催代表者　帯谷知可
参加人数　3名

研究会（公開・共同利用共同研究拠点事業）

低成長期の発展途上諸国における政治経済社会変動の地域間比較研究　研究会

開催日　2016年12月17日
開催地　同志社大学今出川キャンパス志高館
開催代表者　村上勇介

趣旨説明
[第一部] ブラジル
「ブラジルの民主主義とテメル新政権の動向」住田育法（京都外国語大学）
「2016年ブラジル統一地方選挙：全体評価と政治経済の現状・展望」舛方周一郎（神田外語大学）
討論
[第二部] アンデス諸国
「ボリビア・モラレス政権の11年：何が政権を支えてきたのか」岡田勇（名古屋大学）
「コロンビア：和平プロセスの現状と見通し」千代勇一（上智大学）
「ペルーの大統領選挙とクチンスキー政権の現状」村上勇介（京都大学）
討論
共催：日本ラテンアメリカ学会西日本部会研究会、ラテン・アメリカ政経学会関西部会研究会

シンポジウム（公開・共同利用共同研究拠点事業）

ラテンアメリカ政治経済のいま：現状と今後の展望

開催日　2017年1月8～9日
開催地　京都大学稲盛財団記念館中会議室
開催代表者　村上勇介
参加人数　72名

1月8日
Inscripcion/ Inscription
Inauguracion/ Opening Sessin
Discurso magistral/ Keynote speech "Quo Vadis, Latin American Economies?" Joao Carlos Ferraz (Instituto de Economia, Universidade Federal do Rio de Janeiro)
Discusion/ Discussion
[Sesion Economica/ Economic Session]
"Peripherality, Inequality and Economic Development in Latin American countries" Nobuaki Hamaguchi and Yoshimichi Murakami (Kobe University)
"China's Agro Engagement with the LAC" Guo Jie (Peking University)
"China-LAC infrastructural Cooperation: Opportunities and Challenges" Wang Ping (Nankai University)
Comments by Tatsuya Shimizu (Institute of Developing Economies-JETRO) and Joao Carlos Ferraz
Discussion

1月9日
Discurso magistral/ Keynote speech "The Travail of Latin American Democracy in the 21st Century" Marcelo Jose Cavarozzi (Universidad Nacional de San Martin)
Discusion/ Discussion
[Reconsidering Democratic Representation and Accountability in Latin America]
"From Limited Government to Democratic Accountability: Social Accountability Revisited" Enrique Peruzzotti (Universidad Torcuato Di Tella)
"Leveling the Playing Field? A Qualitative Analysis of Presidential Actions Curtailing Media Freedom in Latin America" Marisa Kellam (Waseda University)
"Poverty, Clientelism, and Democratic Accountability in Mexico" (abstract) Yuriko Takahashi (Waseda University)
Comments by Ken Miichi (Iwate Prefectural University) and Hirokazu Kikuchi (Institute of Developing Economies-JETRO)
Discussion
Coyuntura politica actual 1/ Present Political Situation 1
"La doble crisis mexicana"
Alberto Aziz Nassif (Centro de Investigaciones y Estudios Superiores en Antropologia Social)
"The Perfect Storm: Presidential Impeachment and the Rule of Law in Brazil"
Marcus Andre de Melo (Universidade Federal de Pernambuco)
Comentarios/ Comments
Yusuke Murakami (Kyoto University)
Discusion/ Discussion
[Coyuntura politica actual 2/ Present Political Situation 2]
"How Strong Is Evo Morales? The Patterns of Political Support in Bolivia" Isamu Okada (Nagoya University)
"La politica peruana de la decada de 2010: proceso electoral de 2016 y perspectivas para el futuro" Yusuke

Murakami (Kyoto University)
Comentarios/ Comments by Takashi Tanaka (Chubu University)
Discusion/ Discussion
Clausura/ Closing Session

国際ワークショップ
Social Stability and Inclusive Economic Development in Developing Southeast Asia

開催日　2017年1月9～10日
開催地　Phnom Penh, Cambodia, Cambodia-Japan Cooperation Center
開催代表者　中西嘉宏
参加人数　25人

9th Jan
Opening remarks by Nakanishi Yoshihiro (CSEAS, Kyoto University) and Rath Sethik (Faculty of Development Studies, Royal University of Phnom Penh)
[Session 1] Cambodian Economy
Chhinh Nyda, That Rido, Sok Serey and Heng Molyaneth (Faculty of Development Studies, Royal University of Phnom Penh)
Discussants: Kobayashi Satoru (CSEAS, Kyoto University)
[Session 2] Myanmar Politics and Society
Chaw Chaw Sein and Yin Myoe Thu (Department of International Relations, University of Yangon)
Win Myat Aung and Naw Si Blut (SEAMEO-CHAT)
Discussants: Nakanishi Yoshihiro (CSEAS, Kyoto University)

10th Jan
[Session 3] Comparison of Cambodia, Myanmar and Thailand
Dork Vuthy (Faculty of Development Studies, Royal University of Phnom Penh)
Nattapon Tantamsup and Vinissa Ushin (Institute of Asian Studies, Chulalongkorn University)
Ms. Lwin Cho Latt (Department of International Relations, University of Yangon)
Discussants: Prof. Ukrist Pathmanand (Institute of Asian Studies, Chulalongkorn University)
[Session 4] Social and Economic Sustainability in Cambodia
Ngov Penghuy, Yin Soriya, Nup Sothun and Ngin Chanrith (Faculty of Development Studies, Royal University of Phnom Penh)
Discussants: Kudo Toshihiro (Institute of Developing Economies)
Closing session

ワークショップ（公開・共同利用共同研究拠点事業）
中央アジアのイスラーム、ジェンダー、家族：旧ソ連イスラーム地域研究と中東研究をつなぐ

開催日　2017年2月4日
開催地　京都大学稲盛財団記念地域研セミナー室
開催代表者　帯谷知可
参加人数　11名

趣旨説明　帯谷知可（京都大学東南アジア地域研究研究所）
「20世紀初頭の帝政ロシアにおけるムスリム女性をめぐる議論」帯谷知可
「ソ連期ウズベキスタンにおける女性の労働」宗野ふもと（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）
「ウズベキスタンの定住民地域におけるマフルの系譜学：ムスリム女性の生活保障をめぐって」和崎聖日（中部大学全学共通教育部）
「中東における不妊と生殖補助医療：トルコを中心として」村上薫（JETROアジア経済研究所）
コメント：嶺崎寛子（愛知教育大学社会科教育講座）、福田宏（愛知教育大学地域社会システム講座）
ディスカッション
共催：新学術領域研究「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文科学の確立」（代表：酒井啓子）B01「規範とアイデンティティ：社会的紐帯とナショナリズムの間」（代表：酒井啓子）

ワークショップ

Latin America and Asia linkages in a Globalized Humanospher

開催日　2017年2月20～24日
開催地　Mathislehutte, Mathisleweiher Weg
開催代表者　Wil de Jong
参加人数　40名

国際シンポジウム

Comparing Policy Agendas in Emerging Economies: Growth Strategy, Re-distribution and Social Security System in East Asia, Latin America and East Europe-Russia

開催日　2017年3月21日
開催地　楽友会館
開催代表者　三重野文晴、村上勇介
参加人数　31名

[Introduction] Introductory Remarks by Fumiharu Mieno and Yusuke Murakami (CSEAS, Kyoto University)
[Part 1] Challenges for the Next Stage of Growth
Moderator: Fumiharu Mieno
“Peripherality, Inequality and Economic Development in Latin American countries” Yoshimichi Murakami (Kobe University)
“Economic Growth and Sustainable Development across East Asia” Ulrich Volz (SOAS University of London)
“The Determinants of Economic Crisis and Recovery in Transition Economies: A Large Meta-Analysis” Ichiro Iwasaki (Hitotsubashi University)
Discussant: Terukazu Suruga (Okayama Shoka University/ Kobe University), Tatsuji Hayakawa (Fukuyama University)
[Part 2] Politica social en la America Latina contemporanea/ Social Policies in Contemporary Latin America
Moderador/ Moderator: Koichi Usami (Doshisha University)
“Nueva tendencia de la politica social de America Latina en el siglo 21/ New Tendencies of Latin America’s Social Policies in the 21st. Century” Ruben Lo Vuolo (Interdisciplinary Center for Public Policy Studies-CIEPP, Argentina)

“El estado de bienestar en Brasil/ Welfare in Brasil” Ryohei Konta (Institute of Developing Economies-IDE -JETRO)
“El estado de bienestar en Mexico/ Welfare in Mexico” Keiko Hata (Waseda University)
Comentarios/ Comments: Nobuko Shibata (Doshisha University), Martha Irene Andrade Parra (Doshisha University)
[Part 3] Social Policy and Selected Issue in Asian and European Economies
Moderator: Yusuke Murakami
“A Study of the Health Impact of Grandparenting on Thai Elderly” Touchanun Komonpaisam (Chulalongkorn University)
“Labor Policy, Women Labor in Former East Germany Area” Sahoko Satogami (Ph.D candidate, Kyoto University)
Discussant: Satoshi Mizobata (KIER, Kyoto University), Ryota Sakamoto (CSEAS, Kyoto University)
Discussion and Closing Remarks

研究成果刊行物

村上勇介

[編書・共編書]

・2017 Desarrollo, integración y cooperación en América Latina y Asia-Pacífico: Perspectivas y rol de Japón, Lima: Instituto de Estudios Peruanos.

[単行本の分担執筆]

・2016「パチャママの涙：ペルー・テロの記憶と人々の和解」寺田匡宏編『災厄からの立ち直り：高校生のための〈世界〉に耳を澄ませる方法』あいり出版、pp.84–111。

・2016「ペルーのパスポート」陳天璽・大西広之・小森宏美・佐々木てる編『パスポート学』北海道大学出版会、pp.36–41。

・2016「ポスト新自由主義期ペルーの労働組合と国家：20 世紀の状況との比較」宇佐見耕一・菊池啓一・馬場香織編『ラテンアメリカの市民社会組織：継続と変容』日本貿易振興機構アジア経済研究所、pp.113–147。

・2017 “Introducción: Dinámica cambiante en las relaciones internacionales e interamericanas antes y después del cambio de siglo,” Yusuke Murakami, (ed.), Desarrollo, integración y cooperación en América Latina y Asia-Pacífico: Perspectivas y rol de Japón, Lima: Instituto de Estudios Peruanos, pp.9–32.

・2017 “Análisis de las relaciones entre Japón y América Latina: tendencias y perspectivas,” Yusuke Murakami, (ed.), Desarrollo, integración y cooperación en América Latina y Asia-Pacífico: Perspectivas y rol de Japón, Lima: Instituto de Estudios Peruanos, pp.155–194.

・2017「ポスト新自由主義期ラテンアメリカの『右旋回』：ペルーとホンジュラスの事例から」仙石学編『脱主自由主義の時代？：新しい政治経済秩序の模索』京都大学学術出版会、pp.169–193。

[短報ほか]

・2016「5. 研究部会報告〈西日本研究部会〉」『日本ラテンアメリカ学会会報』（日本ラテンアメリカ学会）、pp.41–43。

・2016「3. 研究部会報告〈西日本研究部会〉(5)『ペルーの大統領選挙とクチンスキ政権の現状』」『日本ラテンアメリカ学会会報』（日本ラテンアメリカ学会）、p.8。

・2016「6. 学術・国際交流　寄稿 (2): 国際シンポジウム『ラテンアメリカ政治経済のいま：現状と今後の展望』報告」『日本ラテンアメリカ学会会報』（日本ラテンアメリカ学会）、pp.13–15。

Wil de Jong

[レフリー付雑誌論文]

・2017 “Factors affecting the creation of modern property ownership of forest commons in Japan: An examination of historical, prefectural data,” Forest Policy and Economics, 74 (http://dx.doi.org/10.1016/j.forpol.2016.10.012), pp.62–70.

・2016 “A failed Social License to Operate for the neoliberal modernization of Amazonian resource use: The underlying causes of the Bagua tragedy of Peru,” Forestry (DOI: 10.1093/forestry/cpw033), pp.1–13.

・2016 “Integrating multiple environmental regimes: Land and forestry policies under broader democratic reforms in the Bolivian tropical lowlands,” Environment and Planning C: Government and Policy, 34 (http://journals.sagepub.com/doi/pdf/10.1177/0263774X15621758), pp.463–477.

・2016 “Smallholder forestry in the Western Amazon: Outcomes from forest reforms and emerging policy perspectives,” Forests, 7(9): 193 (DOI: 10.3390/f7090193).

・2016 “Editorial: Incentives and Constraints of Community and Smallholder Forestry,” Forests, 7(9): 209 (DOI: 10.3390/f7090209).

・2016 “Incentives and constraints in community and smallholder forestry,” Forests, Special Issue (http://www.mdpi.com/journal/forests/special_issues/community_smallholder#published).

貴志俊彦

[編書・共編書]

・2016『京都大学人文科学研究所所蔵 華北交通写真資料集成 全 2 巻（論考編、写真編）』国書刊行会（白山眞理と共編）。

[単行本の分担執筆]

・2016「1970 年代東アジアにおける広帯域通信ネットワークの形成：沖縄 - 台湾間海底ケーブルの建設を契機として」村上衛編『近現代中国における社会経済制度の再編』京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター、pp.429–467。

・2016「中国：キリスト教徒に対する許容と排斥の境界」西崎文子・武内進一編『紛争・対立・暴力：世界の地域から考える』岩波書店、pp.131–154。

・2016「東アジア:相関する地域・交錯する地域像」羽田正編著『地域史と世界史』ミネルヴァ書房、pp.40–62。

・2016「戦争と平和のメディア表象：満鉄発行のグラフ誌を手がかりとして」土田哲夫編『近現代東アジアと日本：交流・相剋・共同体』中央大学出版部、pp.151–178。

・2016 “ 第二次世界大戦期間画報中関「事変」與「開発」的媒体表象:以満鉄発行的『満洲画報』、『北支画刊』為線索 ,” 孫秀惠主編『終戦七十年週年：日本帝国及其殖民地的戦争動員與視聴伝播 学術討論会論文集』国立政治大学広告学系、伝播学院、pp.（要確認）。

・2016「絵葉書に見る日本と中国：メディアと検閲制度」『図録 絵葉書にみる日本と中国　1894–1945』（出版社要確認）、pp.37–41。

[短報ほか]

・2016「音楽とうた：時代・救亡・革命・抒情」武田雅哉他編『中国文化 55 のキーワード』ミネルヴァ書房、pp.188–191。

[監修]

・2016『中国占領地の社会調査３（都市不動産慣行調査）』（第 1 巻～第 15 巻）近現代資料刊会（井村哲郎と共同監修）。

[その他の刊行物]

・2017「大学が所蔵する史資料の公開と共有化：華北交通写真資料を手掛かりとして」Science Portal China「文化の交差点」17-05（http://www.spc.jst.go.jp/experiences/change/change_1705.html）、科学技術振興機構。

原正一郎

[編書・共編書]

・2016『衝突と変奏のジャスティス』（相関地域研究 3）、青弓社（原正一郎、林行夫、柳澤雅之と共編）。

[レフリー付雑誌論文]

・2016 “Linked Open Data for Knowledgebase,” PNC2016 Abstract (http://pnclink.org/pnc2016/Docs/2016/Lined%20Open%20Data%20for%20Knowledgebase.pdf).

・2016 “Platform for Humanities Open Data,” ISGC 2017 Abstract Book (http://indico4.twgrid.org/indico/event/2/abstract-book.pdf), p.16 (coauther: Akihiro Kameda).

三重野文晴

[ワーキングペーパー・報告書など]

・2016「ミャンマー新政権と経済政策の課題」『アジア太平洋と関西　関西経済白書 2015』、一般財団法人アジア太平洋研究所、pp. 50-55。

[短報]

・2016 "China, and Financial and Monetary Order in Asia: How Could the AIIB Be Viewed?," USJI Voice, Vol.13 (http://www.us-jpri.org/en/voice/vol13).

・2016「アジア金融・通貨秩序と中国：AIIB をどう捉えるか」『USJI Voice』Vol.13、(http://www.us-jpri.org/voice/vol13).

石川登

[単行本の分担執筆]

・2017 "Community, River and Basin: Watersheds in Northern Sarawak as a Social Linkage," V. King, Zawawi Ibrahim and Noor Hasharina Hassan (eds.), Borneo Studies: Past, Present and Future, Singapore: Springer, pp.365–385. (coauthor: Jayl, L.)

帯谷知可

[編書・共編書]

・2017『秩序の砂塵化を超えて：環太平洋パラダイムの可能性』（環太平洋研究叢書 0）京都大学学術出版会（村上勇介と共編）。

・2017『社会主義的近代とイスラーム・ジェンダー 1』（CIRAS Discussion Paper 69）京都大学東南アジア地域研究研究所 CIRAS。

[雑誌論文（レフリーなし）]

・2016「研究ノート 中央アジアのムスリム定住民女性とイスラーム・ヴェールに関する帝政ロシアの植民地主義的言説」『西南アジア研究』84 号、pp.40–54。

[単行本の分担執筆]

・2017「イスラーム観の違いを克服する：ポスト社会主義、イスラーム復興、権威主義の交錯するウズベキスタンの課題」村上勇介・帯谷知可編『秩序の砂塵化を超えて：環太平洋パラダイムの可能性』（環太平洋研究叢書 0）京都大学学術出版会、pp.105–135。

[ワーキングペーパー・報告書など]

・2017「序言」帯谷知可編『社会主義的近代とイスラーム・ジェンダー・家族 1』（CIRAS Discussion Paper 69）京都大学東南アジア地域研究研究所 CIRAS、pp.3–4。

・2017「20 世紀初頭の帝政ロシアにおけるムスリム女性をめぐる議論についての覚書：N. オストロウーモフ『ムスリム女性の権利の状況』（カザン、1911 年）から」帯谷知可編『社会主義的近代とイスラーム・ジェンダー・家族 1』（CIRAS Discussion Paper 69）京都大学東南アジア地域研究研究所 CIRAS、pp.5–13。

[シンポジウム・ワークショップなどの発表原稿（レフリー付でないもの）]

・2016「コメント　中央アジアにおけるイスラームとジェンダー：古くて新しい課題」『中央アジア地域研究の地平をひらく』東京外国語大学、pp. 17-29。

中西嘉宏

[編書・共編書]

・2016『ミャンマー 2015 年総選挙：アウンサンスーチー新政権はいかに誕生したのか』（情勢分析レポート

No.27）日本貿易振興機構アジア経済研究所（長田紀之、工藤年博と共編）。

[単行本の分担執筆]

・2017「ミャンマーにおける政治と司法：憲法裁の停滞と民主化の行方」玉田芳史編『政治の民主化と司法化』晃洋書房、pp.139-158。

・2017「政治と軍隊」山本信人編『東南アジア地域研究入門３ 政治』慶應義塾大学出版会、pp.（要確認）。

中山大将

[編書・共編書]

・2016『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』(京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11) 京都大学学術出版会（巫覩・福谷彬と共編）。

・2016『サハリン樺太史研究会 2015 年度活動報告書』サハリン樺太史研究会。

[単行本の分担執筆]

・2016「もうひとつの『帰国者』：サハリンから日本へ」駒井洋監修、佐々木てる編著『移民・ディアスポラ研究５ マルチ・エスニック・ジャパニーズ：〇〇系日本人の変革力』明石書店、pp.231–235。

・2017「離散をつなぎなおす：なぜサハリン残留日本人は帰国できたのか」秋津元輝・渡邊拓也編著『せめぎ合う親密と公共：中間圏というアリーナ』（変容する親密圏／公共圏 12）京都大学学術出版会、pp.163–189。

・2017「森と共に生きる人びと、一九一五～二四年」原暉之・天野尚樹編著『樺太四〇年の歴史：四〇万人の故郷』全国樺太連盟、pp.116–156。

・2017「樺太開発の新展開」原暉之・天野尚樹編著『樺太四〇年の歴史：四〇万人の故郷』全国樺太連盟、pp.241–265。

[ワーキングペーパー・報告書など]

・2016「本報告論文集について」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.1（福谷彬・巫覩と共著）。

・2016「关于报告书」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.2（福谷彬・巫覩と共著）。

・2016「評と回答」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.54–67（福谷彬・巫覩と共著）。

・2016「総合討論」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.68–69（福谷彬と共著）。

・2016「境界地域史研究の構想」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.73。

・2016「議題提起（討論会 学知と地域・国家・社会を考える）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.95–98。

・2016「補足：『地域』概念と高橋哲哉の議論について（討論会 学知と地域・国家・社会を考える）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究

者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.111。

・2016「全体討論（討論会 学知と地域・国家・社会を考える）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.112–119（福谷彬・巫覩と共著）。

・2016「点评与回答」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.158–169（巫覩、福谷彬、趙偵宇、郭玫珂、楊維公と共著）。

・2016「综合讨论」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.170–171（姜海日、巫覩と共著）。

・2016「邊界地域史研究的構想」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.175。

・2016「討論議題（讨论会 学术与地域、国家和社会的关系）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.191–194。

・2016「補充：關於“地域”以及高橋哲哉的理論（讨论会 学术与地域、国家和社会的关系）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.205。

・2016「一般讨论（讨论会 学术与地域、国家和社会的关系）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.206–211（姜海日、杨維公、巫覩と共著）.

・2016「ワークショップを終えて」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、pp.222–223。

・2016「结语」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.224。

・2016「謝辞」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.225（巫覩、福谷彬と共著）。

・2016「谢词」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット、p.226（巫覩、中山大将と共著）。

[翻訳]

・2016 蕭仕豪「郷土の境界：農村地収用問題比較から」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：肖仕豪「乡土的边界：比较视野下的农村土地征收制度」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

・2016 王楠「屍をめぐる記憶のポリティクス：現在の中国の『万人坑』を例として」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：王楠「尸骨的記憶政治：以當代中國的“萬人坑”為例」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

・2016 楊菁華「隠された境界：中越境界におけるヤオ族の跨境活動と境界社会問題」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：杨菁华「隐匿的边界： 中越边境瑶族跨国互动与边境社会问题」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

・2016 柳建坤「分岐から相互流動まで：東アジア都市農村移行のロジックと実践経路の転換」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：柳建坤「从分野到流动：当代东亚城乡转型的逻辑与实践路径转换」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

・2016 陳威瑨「応答（討論会 学知と地域・国家・社会を考える）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：陳威瑨「“學術與地域、國家和社會的關係”討論意見」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

・2016 王楠「応答（討論会 学知と地域・国家・社会を考える）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：王楠「“學術與地域、國家和社會的關係”討論意見」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

・2016 楊菁華「応答（討論会 学知と地域・国家・社会を考える）」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：杨菁华「“學術與地域、國家和社會的關係”討論意見」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

・2016 柳建坤「一致協力、謹厳学究」福谷彬・巫覩・中山大将編著『2015 年度京都大学南京大学社会学人類学若手ワークショップ 東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ報告論文集』（原題：柳建坤「戮力同心协作，严谨求实治学」）（京都大学アジア研究教育ユニット報告書 11）京都大学アジア研究教育ユニット（巫覩と共訳）。

[短報ほか]

・2016「本の森　玄武岩、パイチャゼ・スヴェトラナ著『サハリン残留』（高文研）」『北海道新聞』2016 年 6 月 19 日、p.13。

・2016「日本移民学会第 26 回年次大会報告 自由論題報告 B 会場」『日本移民学会 News letter』（日本移民学会）第 73 号、pp.5–6（佐藤量と共著）。

・2017「ブックガイド 現代の食料問題における楽観主義を映し出す鏡 海野洋著『食糧も大丈夫也』（農林統計出版）」『農業と経済』（昭和堂）第 83 巻 1 号、p.130。

[その他の刊行物]

・2016「〈和解〉と〈救済〉という二つの読み方」0328 集会実行委員会編『「慰安婦問題」にどう向き合うか 朴裕河氏の論著とその評価を素材に 研究集会記録集』（http://www.0328shuukai.net/pdf/0328shuukaikiroku.pdf）0328 集会実行委員会、pp.208–209。

受賞

村上勇介

2016 年度（第 31 回) 大同生命地域研究奨励賞

受賞年月　2016 年 7 月
受賞対象となった研究課題名等
「ペルーを中心とするラテンアメリカの政治動態の研究」に対して
受賞者ならびにこの賞に関する詳細
http://www.daido-life-fd.or.jp/news/#news_4884

ペルーを中心とするラテンアメリカの政治動態の研究が評価され、村上准教授が 2016 年度（第 31 回) 大同生命地域研究奨励賞を受賞しました。同賞は、さまざまな地域の人と文化に対する理解を究極の目的としている「地球的規模における地域研究」の発展、展開に貢献した研究者や関係者を顕彰する目的で、大同生命国際文化基金が設けているものです。

評価されたのは次のような三点です。第一に、ペルーを中心とするラテンアメリカ諸国の国家と社会の変動動態過程について、フィールド調査に基づきマクロ、ミクロ両面から実証的な研究を行ない、国内外で高く評価されてきたことです。第二に、そうした研究から得られた知見をもとにラテンアメリカ諸国のあいだ、そしてラテンアメリカと中東欧・ロシアなどラテンアメリカ以外の地域とのあいだの比較分析研究を進めてきたことです。第三に、国内外の学会に深く関与してその発展に寄与するとともに、国際的な学術交流を推進する一方、研究成果を地域開発の実践につなげるなどの社会還元にも尽力してきたことです。
贈呈式は、7 月 22 日にクラブ関西 (大阪市) で開催されました。

三重野文晴

第 32 回大平正芳記念賞（大平正芳記念財団主催）

受賞年月　2016 年 10 月
受賞対象となった研究課題名等
『金融システム改革と東南アジア－長期趨勢（すうせい）と企業金融の実証分析』
受賞者ならびにこの賞に関する詳細
http://www.ohira.org/2014/sho.htm

受賞コメント

思いがけず拙著『金融システム改革と東南アジア－長期趨勢（すうせい）と企業金融の実証分析』(勁草書房) に対して大平記念財団の大平正芳記念賞を賜りました。大変光栄に感じております。この本は、３つの大学で教員として過ごした前半生で柱となってきた研究テーマを、和文モノグラフとしてとりまとめてみたものです。自分にとって幾段階かの研究をつないだ形になっており、それを振り返ってみると大学院・助手時代も含めて過ごした所属先の「研究カラー」あるいは「流派」の影響をその時々で受けてきたように思います。本書の柱である長期歴史統計の構築を通じた長期趨勢の観察と、企業レベルデータによる企業金融分析という２つのアプローチの両立と、そこから政策評価を行うという構成は、それ自体なかなか珍しいものなのではないかと思っています。本書を出版したのは東南アジア研究所に着任後して３年目の終わりになりますので、とりまとめの発想の部分で本研究所の「カラー」から何らかの影響を受けているようにも思います。

アジア経済に関わる地域研究には、個別ケースやミクロなテーマの掘り下げと同時に、経済システム総体としての特徴の把握と、他地域との比較によるその相対化が大事だと思っています。それをどうすればできるのか、それができる学問領域の形成や研究者育成どのようにすればできるのかについては、まだまだ模索の中にいますが、この本を書く中で問題の輪郭がなにがしかが見えてきたようには感じます。

本書の出版とそこに至るまでの研究を支えてくれたたくさんの方々への感謝しつつ、今後さらに精進して参りたいと思っております。

報道

■村上勇介

[新聞報道等]

・2016.6.3「ペルー大統領選 識者に聞く『女性初』なるか『反フジモリ』再燃も」『毎日新聞』（国際面：10 頁）（6 月 5 日に実施されるペルーの大統領選挙・決選投票にむけた動向を分析した）

・2016.6.18「射程 ケイコ氏の次なる課題」『熊本日日新聞』（社説・射程・新生面：2 頁）（決選投票に敗れたフジモリ氏の今後を分析したコラムで、論説員が村上に対する取材を引用しつつ解説）

・2016.6.28「ペルー大統領選 僅差でフジモリ氏敗北 資金洗浄疑惑で反発」『エコノミスト』（News of the Week FLASH！：16 頁）（6 月 5 日に実施されたペルーの大統領選挙・決選投票でフジモリ氏敗北の原因を分析した）

・2016.7.9「上田出身村上さんに奨励賞」『信濃毎日新聞』（社会面：37 頁）（大同生命国際文化基金の地域研究賞の発表にもとづき受賞者を報じた）

・2016.7.23「大同生命地域研究賞、決まる」『朝日新聞』（経済面：9 頁）（大同生命国際文化基金の地域研究賞の決定を報じた）

・2016.9.7「テーブルトーク 経済格差 ペルーから解決策探る」『朝日新聞』（文化面：3 頁）（大同生命国際文化基金地域研究賞の受賞とともに、経歴や研究内容について紹介）

・2016.12.17「暴力 共感得られない」『毎日新聞』（国際面：東京版 8 頁、大阪版 6 頁）（ペルー日本大使館公邸占領事件発生から 20 年を迎え、当時の状況とその後について分析した）

■貴志俊彦

[書評等（第三者による書評・紹介）]

・2017.3.3「書籍紹介：『20 世紀前半の中国（中国の歴史・現在がわかる本 第 1 期 1）』（貴志俊彦、2017 年 2 月）」Science Portal China（国関連書籍書評欄）（拙著の概要と課題を簡潔に指摘）

[新聞報道等]

・2016.10.9「戦火の中国 写真宣伝戦 国策会社・華北交通の沿線」『朝日新聞』（社会面）（京都大学人文科学研究所所蔵の華北交通写真資料の紹介とその意義）

・2016.10.9「戦下の中国、写真宣伝戦　国策会社の 3.5 万枚、京大に」『朝日新聞デジタル』（社会面）（内容は同上）

・2016.12.25「残された 3 万 5 千点の写真」『千葉日報』7 面（京都大学人文科学研究所所蔵の華北交通写真資料の紹介とその意義、「華北交通写真資料シンポジウム」などへの言及）

・2016.12.27「満鉄関連会社『華北交通』残された 3 万 5000 点」『高知新聞』14 面（内容は同上）

・2017.1.16「残された 3 万 5 千点の写真（上）（下）」『徳島新聞』5 面（内容は同上）

・2017.1.18「残された 3 万 5 千点の写真（上）（下）」『京都新聞』（文化欄：9 面）（内容は同上）

■三重野文晴

[新聞報道等]

・2016.5.2.「ミャンマー新政権の課題：軍政時代の既得権 改革を」『日本経済新聞』（「経済教室」欄）

・2016.5.19「第 32 回大平正芳記念賞」『毎日新聞』（著書による同賞の受賞について）

■中山大将

[新聞報道等]

・2016.9.24「樺太の慰霊碑 国調査へ 約 20 カ所今後の管理法検討 出身者高齢化で維持困難」『北海道新聞』（外務省樺太日本人墓地調査メンバーとして言及）

・2016.10.9「政府のサハリンの日本人慰霊碑初の現地調査」NHK 総合テレビ（番組名「おはよう日本）（外務省樺太日本人墓地調査についてコメント）

・2016.10.9「政府のサハリンの日本人慰霊碑初の現地調査」NHK 総合テレビ（番組名「ニュース（札幌局）（外務省樺太日本人墓地調査についてコメント）

・2016.10.9「政府のサハリンの日本人慰霊碑初の現地調査」NHK 総合テレビ（番組名「ニュース・気象情報（全国））（外務省樺太日本人墓地調査についてコメント）

・2017.2.25「ある家族の長い旅路」NHK 総合テレビ（番組名「NEXT 未来のために」）（サハリン残留日本人について資料提供）

環太平洋研究ハブ拠点形成　2016年度報告書
発行日　2018 年 2 月 17 日
発行者　京都大学東南アジア地域研究研究所 環太平洋研究ハブ拠点形成
〒 606-8501　京都市左京区吉田下阿達町 46
電話　075-753-9620　　FAX　075-753-9602
E-mail　ymurakam@cseas.kyoto-u.ac.jp
HP　http://www.lafky.cias.kyoto-u.ac.jp/

京都大学東南アジア地域研究研究所
環太平洋研究ハブ拠点形成 2016年度報告書
発行日　2018年2月17日
発行者　京都大学東南アジア地域研究研究所
環太平洋研究ハブ拠点形成
〒606-8501
京都市左京区吉田下阿達町46
TEL:075-753-9620
Fax:075-753-9602
http://www.lafky.cias.kyoto-u.ac.jp/